連携室だより vol.20

平成26年4月1日より、**秋田厚生医療センターに名称が変わります。**

Contents

- 院長あいさつ
- 地域医療連携室　室長あいさつ
- 診療科トピックス　放射線科
- 臨床検査科のご紹介
- 地域医療連携アンケート結果
- 病院からのご案内
  - ＊神経内科外来予約制について
  - ＊第10回がん診療連携研修会
  - ＊糖尿病教室

2014年2月発行

院長挨拶

院　長　　阿　部　栄　二

地域の医療・介護連携は超高齢化社会を迎え、その重要性は益々高まっております。このため、昨年夏に手狭になった連携室を改修して広げ、スタッフも増やし前方・後方連携の機能強化もはかりました。

また長年の懸案だった院外薬局の利便性の問題も解決に向けて大きく前進しました。病院の正面道路の付け替え工事が５月で完成し、夏頃までには病院入口の隣に院外薬局が２店舗オープンになるでしょう。採算を度外視して 365 日夜 10 時まで営業して下さるそうです。

MRI、CT、心カテ用 X 線透視装置、ライナック放射線治療装置などの大型医療器械の更新や、新内視鏡センターの内視鏡機器の増設も県や秋田市、潟上市、男鹿市の補助もあり一挙に進みました。１月から３月までに工事が終わり、年度内に稼働できる予定です。

病棟ナースコールの新型機種の入れ替え工事も昨年秋に全病棟完了しましたので、入院患者さんへのきめ細かい対応も改善されると思います。その他、１月から３月にかけて小児･産婦人科病棟のプレイルームの改修工事、病院のオアシスとなるような中庭の改修工事、医療機器のセンター管理化に伴い狭矮になった ME センターの増築工事、旧内視鏡室の外来診察室、点滴処置室、入院支援室などへの改装工事など、院内のあちらこちらで工事が始まっています。

一昨年増改築した救急総合診療部や昨年完成した秋田県総合診療・家庭医研修センターの機能も軌道にのり、その効果も出はじめております。救急総合診療部によるER型救急医療の実践は地域の住民や医療機関、介護施設から高く評価され、また研修医にも好評で、４月から新研修医が 11 人、総合医の研修に２人が来ることになりました。

格上の病院をめざして取り組んできた接遇改善プロジェクトも３年目に入ります。今年４月から病院名が「秋田厚生医療センター」に変わりますが、変更の目的の中には職員の意識改革も含まれております。昨年改訂した「患者中心の医療」と「質の高い医療の提供」の理念を実践し、新病院名に相応しい格上の病院に脱皮しようと思っていますので宜しくお願いいたします。

地域医療連携室 室長挨拶

地域医療連携室　室長　　田　村　芳　一

年が明けて早や２ヶ月が過ぎますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今年の干支である甲午は還暦半ばの折り返し点にあたり、陰陽反転する年ともいわれます。あやかるわけではありませんが、当院は今年４月から「秋田厚生医療センター」と改称します。ちなみに５月に新築開院する仙北組合総合病院、湖東総合病院も、それぞれ「大曲厚生医療センター」「湖東厚生病院」と名称が変更されることになっています。

とはいっても、この春からの消費増税に伴う実質的な診療報酬のマイナス改訂、TPP 交渉の行く末とも絡んだ自由診療化への圧力、そして何よりも増大し続ける医療費への厳しい視線など、必ずしも明るい材料だけではないことも確かです。このような中、地域包括ケアの導入や病院･病床機能分化が進められようとしています。限られた資源でしなやかに対応しうる効率よいシステムを、いかにしたら作り上げることができるのか。守られなければならない地域医療の骨格とは何なのか。答えが存在するとすれば目の前の現実にこそあるのでしょうが、走りながらも考えるべき課題をつきつけられています。いずれにしても、それらを織りなす糸としての重要な役目を担っているものの一つが医療連携です。地域基幹病院や診療所、さらに福祉介護施設との連携を縦と横の糸として、世界にも例をみない超高齢化に適応できるモデルを作り上げる、くらいの気概で臨みたいものと思います。

当院では、昨年から引き続き老朽化したリニアックの取り替え工事を行っています。年が明けても槌音が絶えることなく、早々から心カテ装置や MRI 更新工事、旧内視鏡室や中庭の改修工事に入っています。３月になると、新たな院外薬局のオープンに対応して、入り口道路の付替え工事も行われる予定です。

甲午の年にあたり、名実ともなった病院への脱皮をはかるのに歩調を合わせて、よりいっそう皆様のお役に立てるようなネットワークの構築を目指したいと考えております。今年もどうぞお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

診療科トピックス

放射線科

放射線科科長　**大　町　康　一**

現在放射線科では、ライナック（放射線治療装置）と心臓血管撮影装置および MRI の三つの導入工事が進行中です。

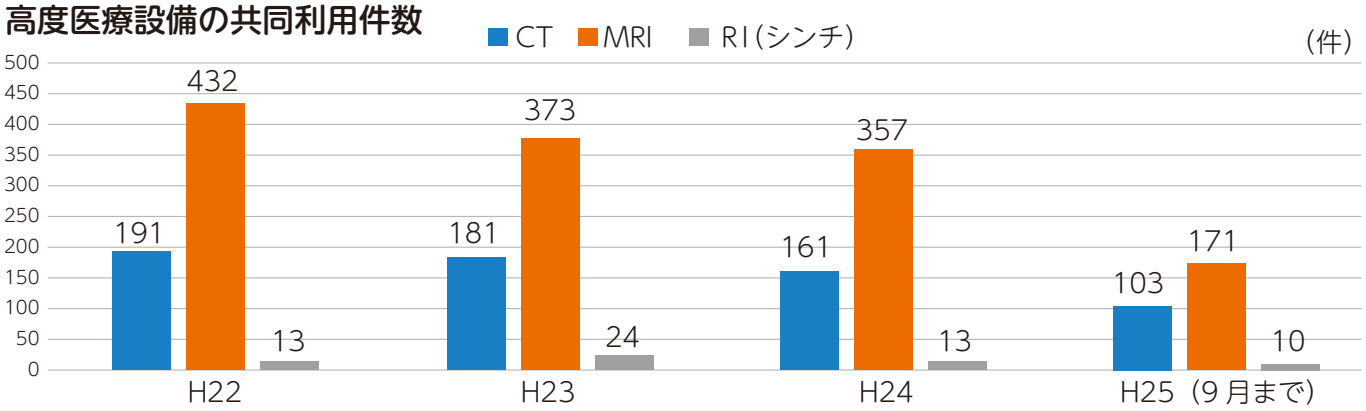
新しいライナック（CLAINAC iX　VARIAN）は、最新式の照射装置で CT 装置と連動して治療を行います。CT 装置で撮像した病変の位置情報を利用して、マルチリーフコリメーター 5mm により、ほぼ病変のみに放射線照射が可能となります。これにより、今までよりきめ細かい治療ができるようになります。今年の 6 月以降の稼働を目標に工事が進められています。治療は秋田大学の治療専門のドクターが行います。

新しい心臓血管撮影装置（Allura Clarity　PHILIPS）は事前に作成した心臓 CT 画像のデータを利用して透視装置の最適なポジションを決めることができ、ポジショニングのための透視・撮影が不要となります。これにより検査時間の短縮が可能で、患者さんの被ばく自体も低減されます。造影剤の使用量も低減することが可能です。また二方向の撮像装置を持っていますので下肢領域への対応も容易となります。

新しい MRI は高磁場 MRI（Ingenia　1.5 テスラ　PHILIPS）で今までの MRI（0.5 テスラ）よりも高性能となります。特徴としては、患者さんの入る部分の開口径が 70 ㎝と大きく、患者さんの心理的不安が軽減されます。また、MR 信号を受信コイルから直接デジタル化する技術などにより、これまでより質の高い画像が提供できるようになります。検査時間もこれまでより短縮され、患者さんの負担が軽くなります。この新しい MRI は本年 3 月 5 日から稼働予定となっています。病診連携においては、主に脊椎・乳房などを中心に撮像する予定です。予約申し込みはこれまで通り、当院地域医療連携室までお願いいたします。

今後も高度医療設備の共同利用の推進を図り医療連携に取り組んでいきたいと思います。

高度医療設備の共同利用件数



	H22	H23	H24	H25（9月まで）
CT	191	181	161	103
MRI	432	373	357	171
RI（シンチ）	13	24	13	10

臨床検査科のご紹介

臨床検査技師長　三　浦　　徹

臨床検査科（病理診断科含む）は「正確で迅速な検査情報の提供」を検査理念に掲げ、現在は管理医 1 名、病理医 2 名、臨床検査技師 27 名、検査助手 7 名のスタッフで、質の高い検査情報の提供に努めています。一昨年の検査システム更新で、検体検査の画像結果が臨床各科の端末で参照できるようになり、現在は、心電図検査の波形も各端末で参照できるように準備を進めている状況です。

検体検査部門においては、臨床検査技師 16 名が検体分析（血液･尿･便等）、微生物検査、病理組織・細胞診検査を実施し、精密で、正確で、迅速な成績報告に努めています。一昨年には大型分析装置（写真 1. 2）を含む 21 台の装置を更新し、年々増加している検査件数(表1)対応しています。休日は日直、夜間は当直体制にて常時緊急検査を実施し、24 時間体制の救急医療にも対応しています。

生理検査部門においても、心電図・呼吸機能・超音波・脳波・神経生理・耳鼻科領域検査などの件数が増加（表 2）していますが、現在 11 名の臨床検査技師（超音波検査士 6 名含む）で増加する検査の対応に励んでいます。一昨年、初めて日本超音波医学会主催で、より高度な知識・技術と実績が求められる超音波検査士上級試験、指導検査士試験（腹部領域）に、当科の大山葉子技師（写真 3）が合格しました（東北地区 1 名、全国で 5 名)。この指導検査士は超音波専門医と同等の資格があり、当然、超音波検査の“質の高さ”の証明になります。通常の超音波検査業務に加え、後進技師の指導･教育、研修医の研修支援、超音波検査の地域連携その他に、大山技師の活躍を期待したいところです。

私たちは日々知識と技術を研鑽し、臨床検査の“質の向上”を通して、チーム医療（感染制御・栄養サポート・褥瘡対策チームなど）にも参画し、当院の効率的な医療サービスの提供と、地域医療の貢献に今後も努めて参ります。

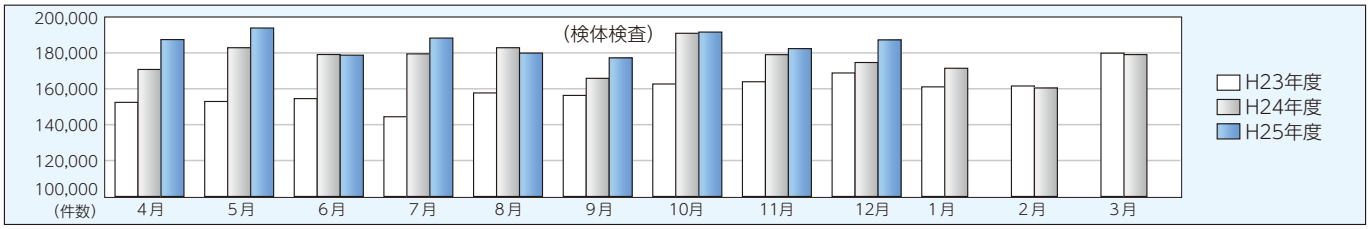
写真 1　血液自動分析装置

写真 2　生化学分析装置

写真 3　大山葉子技師（超音波指導検査士）

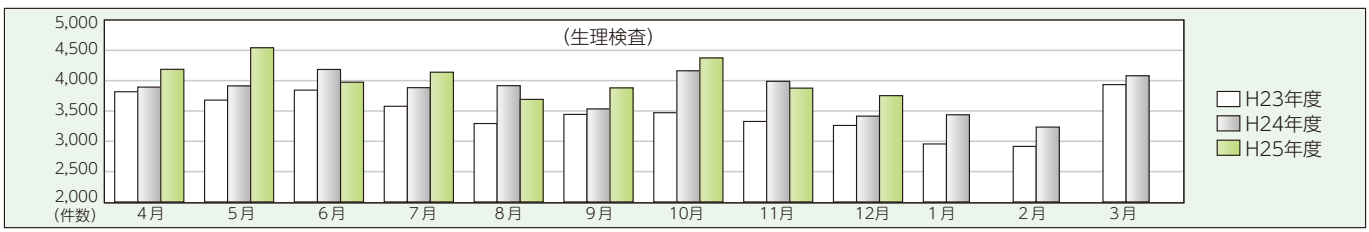
検体検査の件数推移（表 1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	累計
H23年度	152,414	152,904	154,515	144,422	157,661	156,286	162,655	163,921	168,795	161,082	161,541	179,847	159,670	1,916,043
H24年度	170,753	182,904	179,106	179,467	182,904	165,838	190,952	178,998	174,663	171,441	160,424	179,039	176,374	2,116,489
H25年度	187,404	193,892	178,739	188,262	179,900	177,212	191,607	182,408	187,243				185,185	***
前年差異	16,651	10,988	▲ 367	8,795	▲ 3,004	11,374	655	3,410	12,580				6,787	***
差異（%）	9.8	6.0	▲ 0.2	4.9	▲ 1.6	6.9	0.3	1.9	7.2				3.9	***



生理検査の件数推移（表 2）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	累計
H23年度	3,817	3,679	3,844	3,578	3,293	3,444	3,472	3,328	3,262	2,956	2,916	3,934	3,460	41,523
H24年度	3,894	3,914	4,185	3,884	3,918	3,534	4,163	3,989	3,415	3,438	3,235	4,081	3,804	45,650
H25年度	4,188	4,543	3,975	4,140	3,691	3,881	4,374	3,877	3,752				4,047	***
前年差異	294	629	▲ 210	256	▲ 227	347	211	▲ 112	337				169	***
差異（%）	7.6	16.1	▲ 5.0	6.6	▲ 5.8	9.8	5.1	▲ 2.8	9.9				4.6	***



地域医療連携アンケート結果

アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。たくさんの貴重なご意見やご提案をいただきましたので、今後も地域の急性期病院としての機能を果たせるよう体制整備に努めてまいります。

地域医療連携に関するアンケート結果

＊アンケート目的
紹介に関する満足度及び改善点や要望などを伺い、地域医療機関との円滑な連携が図れるよう、
連携強化に向けた取り組みに活用していく。

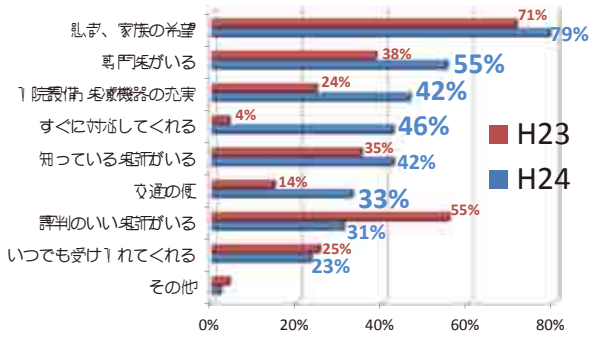
＊アンケート対象
当院登録医及びH24年度にご紹介いただいた
秋田市 男鹿南秋地域の医療機関医師　　206名

＊調査期間　平成25年4月26日～5月20日

＊アンケート配布数　206
回収数　104
回収率　50.5%

1

紹介時の当院選択理由について



その他）疾患の種類や重症度による。

2

紹介方法について

N=104

【その他】
電話してからＦＡＸする。
連携室に相談してからにする。

3

紹介に関するご意見について

（複数回答）

	項　目	回答数	%
1	今のままで良い	76	63%
2	紹介（受診・検査）の申し込み手順が分かりにくい	7	6%
3	予約日時の返事が遅いと感じる	7	6%
4	救急受診の依頼時の対応に改善が必要	7	6%
5	連携室の対応について改善が必要	7	6%
6	申込書類（受診・検査）が分かりにくい	5	4%
7	医師について分からない	3	3%
8	希望した日時に予約がとれない事が多い	0	0%
9	診療科が分かりにくい	0	0%
10	診療科日程表（受付時間など）が分かりにくい	0	0%
11	その他	5	4%
12	無記入	3	3%

4

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
2．紹介（受診・検査）の申込み手順が分かりにくい。	◎受診目的（内容）により予約の仕方が違う。例えば胃ろう造設、入院依頼など。 ＊胃ろう造設 診療申込書＋紹介状のＦＡＸ ＊胃ろう交換 【始めての交換】診療申込書と紹介状のＦＡＸ 【2回目以降の交換】診療申込書のみＦＡＸ ＊入院申し込み 外来診療の申し込みに準じますので、 ①診療申込書（可能であれば紹介状も）ＦＡＸ ②診療科に確認後にお返事致します。 ◎紹介日が決まってから紹介状を準備する事が多いため、申し込み時点で紹介状が必要という手順では、申し込みそのものが遠くなってしまうこと。 ＊病状により受診可能な曜日が異なる場合がありますので、できれば紹介状のＦＡＸをお願いしておりますが、特別な確認事項が無ければお返事は可能です。申し込み時の紹介状ＦＡＸは必須ではございませんので、当日持参頂くようにご準備をお願い致します。ただし、病状により確認が必要な場合はご連絡させて頂きます。

5

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
3.予約日時の返事が遅い	◎開業医に来る患者は、コンビニかファーストフードの感覚で受診の人が多い。（返事は早めに欲しい。） ＊受診患者の対応や申し込みが混雑している場合、お待たせすることがあり、大変申し訳ございません。なるべく１０分以内でお返事できるように努めます。尚、各科外来に確認が必要な場合など、お時間を要する場合は、あらかじめご連絡するように致しておりますのでご了承願います。
4-1　救急受診時の対応について	◎救急の依頼をしても、結論が出るまで時間がかかり、結果断られること。 ＊救急患者のご依頼をいただきますと、連携室より救急外来及び、必要時担当診療科医師への連絡をおこない受け入れ準備をしておりますので、お時間を要する場合があります。大変お待たせして申し訳ございませんでした。迅速にお返事できるよう努めて参ります。 また今後も「断らない救急」を目指し体制を整えるよう努めてまいります。

6

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
4-2　救急受診時の対応について	◎申し込み時に紹介状が必要な事あり。簡単な経過で受け入れ判断して欲しい時あり。特に緊急時は自院の外来も忙しいため。 【提案】診療申込書の備考欄を広くする。 ◎救急時は、電話での簡単な紹介目的と状態報告のみで受け入れ可能か即答して欲しい。 ＊救急患者の依頼時は、救急外来の指示により、できるだけ依頼患者の病状を救急へ連絡してから、連携室より依頼先へ来院の連絡を行なうようにしており、即答できずに申し訳ございません。今後も迅速にお返事ができるよう努めてまいります。 ＊上記のとおり、救急に確認する必要があり、簡単でも患者情報を記載した紹介状などのＦＡＸを頂けますと非常に助かります。ただし、緊急時はお電話でも対応できるよう努めてまいりますが、事務職員など場合によっては、救急へお電話をお繋ぎしたりする場合もあろうかと存じます。ご理解とご協力をお願い致します。

項　目	ご意見及び提案／病院からの回答
4-3　救急受診時の対応について	◎救急車による搬送は断らないで欲しい。 ＊病院方針としては、ベッドコントロールに努め、「断らない救急」を目指しております。急性期病院としての機能を果たすべく、地域の医療機関や施設・介護サービスと連携しながら退院調整にも努めているところです。しかし、現在、常勤の専門医が不在で入院病床の無い診療科（神経内科、心臓血管外科、精神科）については、受入れが難しい状況です。ご理解とご協力をお願い致します。
5．連携室の対応について	◎対応に個人差がある。 連携室の電話対応について。 ＊昨年秋に連携室員の交替があり、不慣れな対応でご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。病院としても、今後、連携室機能をさらに強化する方針であります。連携室員の対応力の向上、電話対応を含めた接遇教育を徹底致します。

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
11-1 その他の ご意見とご要望	◎ＣＴ，ＭＲＩ申し込み時の記入項目が多い。 ＊3年前にもＣＴ・ＭＲＩの申込用紙を簡便化いたしましたが、再度内容を吟味した上で、再度検討させていただきます。 ◎貴院受診中の患者の簡単な情報について聞きたい時のレスポンスが悪い。 ＊お問い合わせについては、各科外来に確認し、お返事しております。お急ぎのお問い合わせについては、早急にお返事をお届けできるように努めてまいります。

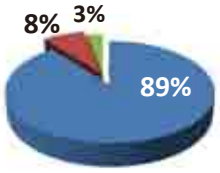
項目	ご意見及び提案／病院からの回答
11-2 その他のご意見とご要望	◎平日時間外、土曜日など、連携室と連絡とれず、受診予約がとれない。担当の遅番や土曜日の日直を置くのは無理でしょうか？ ＊時間外・休日において、大変ご迷惑をおかけし申し訳ございません。連携室へ17時までにＦＡＸ頂いた診療申込みにつきましては、同日内にＦＡＸでお返事させて頂いております。 17時以降の申し込みにつきましては、翌日にFAXまたは、電話でお返事させていただいております。 また、事前予約無しでも、当日受診が可能ですので、診療日程表及び受付時間に注意して当日来院頂くようご説明くださっても構いません。 連携室の遅番・土曜日の日直体制につきましては、人員を十分に揃える必要もあり、今後の検討課題とさせていただきます。ご不便をおかけし、申し訳ございません。

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
11-3 その他のご意見とご要望	◎呼吸器科入院（専門）病棟は、いつ頃できるのか？ ＊呼吸器科の入院につきましては、現在もお受けしております。ただし、常勤医が少なく、高齢者の肺炎については当番制としており、複数の病棟で対応しております。 ◎再来時でも予約ができるとありがたい。 ＊再来時の予約は、受診時に各科外来で行なっております。循環器科と整形外科は16：00～17：00電話での予約が可能です。さらに予約できる診療科を増やす予定です。 ◎消化器科への紹介患者が外科で手術になった場合、手術所見と経過が知りたい。 ＊大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。消化器科から外科になった際は、外科より診療報告を紹介元の先生へ送付するようにしております。医師の異動時期など報告が漏れやすい時期などは、特に注意してまいります。

項目	ご意見及び提案／病院からの回答
11-4 その他のご意見とご要望	◎神経内科の常勤医がいると助かるのですが。 ＊現在、非常勤の医師による週2回の外来を行なっていますが大変ご不便をおかけしており、申し訳ございません。今後もご期待に添える診療提供できる体制づくりに努めてまいります。 ◎特に困ることは無い。逆に当方で、FAX予約せずに紹介状のみで送っていることを申し訳なく思っている。できるだけ、ＦＡＸ予約を行うようにしたい。 ◎ご苦労様です。各科の事情の中で対応してくださっていると感じます。 ＊ご意見及びご提案ありがとうございました。今後も、頂いたご意見などを参考に、体制整備に努めてまいります。

初回報告について　N=104

報告時期



報告内容

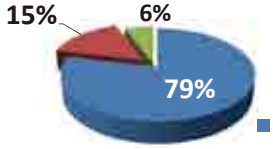
ご意見・ご要望

- どちらかと言えば満足、一概には言えない。
- 「受診しました」の報告は不要です。

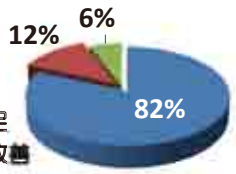
13

経過報告・最終報告について　N=104

報告時期



報告内容



ご意見・ご要望

- 経過報告は必要ありませんが、最終報告は来ないことがあります。
- もう少し、詳しい報告を求む。
- 報告忘れが時にある。診療科による。
- 報告が来ない事がある。来ても非常に遅い。
- 最終報告で良いものは、十分すぎるほどの内容です。
- 退院サマリー添付を拒否されることがある。退院サマリーを添付して欲しい。
- 入院していたら、退院総括を入れて欲しい。

14

当院への意見・要望及び回答

当院への意見・要望	病院からの回答
◎救急センターへ紹介した際に、お返事が遅くなる場合が稀にあります。特に整形外科以外で。宜しくご高配のほどお願い致します。	お返事が遅くなり、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。早めにお送りできますよう、今後も指導させていただきます。
◎ＦＡＸで診療情報の問い合わせがあり、情報を提供するが、その後返事が全く来ない。	日頃、当院からの情報提供依頼の際には、皆様より迅速にお返事を頂き、感謝申し上げます。当院では、問い合わせに関しての情報提供を頂いた後は、医師の任意でのお返事となっている現状です。頂いたご意見を医局会などで伝達してまいります。

15

当院への意見・要望及び回答

当院への意見・要望	病院からの回答
◎できる限り、紹介状を持参させてほしい。	基本的には、他院への紹介時には紹介状を患者ご本人への手渡しや郵送でお届けしております。その中でも紹介状無く受診に至ってしまった方や特に救急でお返事や紹介状を準備する事ができない場合が多く、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。 紹介状をなるべく持参していただくよう再度指導いたします。

16

当院への意見・要望及び回答

当院への意見・要望	病院からの回答
◎開業医の集団ではなく、総合病院ですから、その科の病気の治療だけではなく、紹介患者さんによっては、「ホールボディ」の上、ご加療いただければと思うことあり。	専門医同士の連携を図りながら、総合的な疾病管理ができる診療体制が図れるよう努めてまいります。
◎開業医の立場をもう少し理解して診療にあたって欲しい。不可抗力でやむを得ず紹介するわけだから前医（紹介元）を患者や返事で批判するのは宜しくない。	研修センターでも研修医教育を行なっていますが、その他の医師については、医局会などを通じて、今後職員教育を徹底いたします。 もし、このような事実がございましたら、直接本人に指導致しますので、院長に直接（あるいは連携室へ）ご一報をお願い致します。

17

当院への意見・要望及び回答

当院への意見・要望	病院からの回答
◎予約制の診療体制に応えるように努力します。 ◎急な搬送でもお引き受けいただいております。大変感謝しています。 ◎いつもすぐに受け入れいただきましてありがとうございます。 ◎いつも受け入れていただき、感謝しています。特に市中に小児外科医がいないため、貴院を紹介させていただいております。小児のアレルギー児のワクチン接種にも対応していただき助かっております。地域外からの紹介で恐縮ですが、いつも丁寧にご対応いただき感謝しております。 ◎多忙でしょうが、地域のため頑張ってください。 ◎これからも地域の中心病院として頼りにしております。	たくさんの貴重なご意見やご提案を頂きありがとうございました。 今後も、地域の医療機関との連携を図りながら急性期病院としての機能を果たせるよう、今後も体制整備に努めてまいります。

18

神経内科外来の新患予約制のご案内

新患の方は予約を設けずに診療をすすめておりましたが、再診予約の方と併せて 1 人体制で診ている関係上、予約患者の待ち時間の増加にも繋がり、診療時間が大幅に延長している現状となっております。そこでこの度、新患の方につきましても平成 26 年 1 月 6 日より予約制を設けています。下記のとおり事前予約のご協力をお願いいたします。

○神経内科外来　毎週火曜日（午前）と隔週金曜日（午後）

○新患予約可能人数

・毎週火曜日(午前) 5 人まで/日　※診察が午後に延長になる場合があります。
・隔週金曜日(午後) 2 人まで/日

・あくまで、**受診日の予約であり診療時間の予約はできません**ので、ご了承ください。来院時間につきましては、待ち時間がなるべく少ないようご案内致しますが、予約患者と併せての診察になっておりますので、待ち時間についてはご了承願います。
・過去に当院神経内科の受診歴があっても、**1年以上空いた方は、新患と致します。**
・直接来院頂いた場合、予約人数を超えている時は、当日の診療ができかねますので、**できるだけ、事前の予約を何卒ご利用くださいますようお願い致します。**

ご予約・お問い合わせ
秋田組合総合病院　地域医療連携室
TEL 018-880-3050【直通】(8：30～17：00)

研修会のご案内

第 10 回　がん診療連携研修会

日　時　平成26年3月25日 (火) 19：00 ～ 20：00
場　所　秋田組合総合病院　2 階　大会議室
テーマ「骨軟部腫瘍の診断と治療」
講　師　当院　整形外科科長　**小林　孝**
※参加対象は問いません。
秋田組合総合病院　地域医療連携室（担当：鎌田まで）
TEL　018－880－3050

糖尿病教室

日　時　平成26年3月15日 (土) 10：30 ～ 11：30
場　所　秋田組合総合病院　2 階　大会議室
テーマ「糖尿病と栄養」
講　師　当院　栄養科副技師長　**渡辺　あづさ**
※事前申し込み不要。当日参加歓迎
※どなたでも参加できます。
※当院糖尿病教室は、患者さん向けの分かりやすい内容になっていますので、奮ってご参加ください。患者さんへの指導にぜひお勧めください。

秋田組合総合病院　連携室だより

〒011-0948 秋田市飯島西袋一丁目 1 番 1 号
TEL.018-880-3000　FAX.018-880-3040

発 行 者：地域医療連携室　室長　田村芳一
直通電話：018-880-3050
専用FAX：018-857-2324
E-mail：chiikirenkei@akikumihsp.com